Joy風
Faculty of Informatics
Shizuoka University Newsletter
Vol.22, April 2019
http://www.inf.shizuoka.ac.jp
April2019
vol.22
静岡大学情報学部

行事報告
Report of events

テクノフェスタ in 浜松

テクノフェスタ実行委員会　峰野 博史・吉田 寛

クノフェスタ in 浜松は一般市民の皆様を対象とし、情報学と工学に関する技術・学術の最先端情報に触れていただける多数の展示、研究室公開、体験型実験イベントなどからなる年に一度の催しです。浜松キャンパスの教職員と学生の皆さんが一体となって運営に取り組んでいます。

平成 30 年度テクノフェスタ in 浜松は 2018 年 11 月 10 日（土）・11 日（日）の両日にわたって開催され、２日間で約 1.3 万人（昨年度約 1 万人）の入場者がありました。例年同様に、静大祭、ホームカミングデイ、保護者懇談会、公開市民講座、秋季オープンキャンパスに加え、学生サークル主催の露店や音楽ライブイベントなどで活気あふれる２日間となりました。

情報学部では最新の情報技術に触れたり情報社会の将来や課題を考えたりできる様々な展示やイベントが開催され、情報学部の日ごろの研究や教育を地域の子どもたちや市民の方々に知ってもらうよい機会になりました。当日の様子は、インターネットで公開されています。以下の URL からご覧いただけます。ぜひこの機会に、浜松キャンパスや情報学部の雰囲気を体験しにお立ち寄りください。

静大 TV
http://sutv.shizuoka.ac.jp/video/217/1593

テクノフェスタ(2018年11月11日)

ホームカミングデー

同窓会ワーキンググループ　田中 宏和

11 月 10 日（土）15 時 30 分より 3 時間ほど、情報学部 2 号館大会議室において、第 9 回ホームカミングデーが開催されました。同窓生、院生、学部生、退職された教職員、在職教職員合わせて 100 名近くが集まり、お酒やオードブルを楽しみながら、交流を深めました。今年度の特徴は、懇親会の前に、「私の仕事とキャリア」をテーマに卒業生 6 名によるプレゼンテーションを企画したことです。同期の卒業生がプレゼンすることを知って集まった卒業生や教職員も多数おり、懇親会では互いの近況を語り合う姿があちこちで観られ、とても有意義な同窓会になりました。また、情報学部の卒業生が多方面で活躍していることをあらためて実感できる機会にもなりました。浜松工業会からは浜松支部長の小林さまのほか富田さま、澤井さまにもお越しいただき、懇親会の冒頭に小林さまから開会のご挨拶をいただきました。

同窓会の様子は、facebook の情報学部同窓会のページでも見ることができますので、是非、情報学部同窓会のページをご覧ください。そして来年も多くの卒業生が来場されることを期待しています。

情報学シンポジウム 2018「スポーツと情報」―情報科学技術によるスポーツ革新―

実行委員会　宮崎 真

2018 年 12 月 22 日、情報学シンポジウム 2018「スポーツと情報」を開催しました。AI やビッグデータを駆使したゲーム戦略、e スポーツの勃興 ― いま、“情報” がスポーツを革新し、またスポーツが “情報” の新たな需要を生み出しています。本シンポジウムは、学内外の気鋭の研究者や開発者を招いて、スポーツと情報に関わる最新知見を紹介し、未来のスポーツ、そして情報学の発展を展望しました。その演者と演題は次のとおりです。

・稲見昌彦 教授 (東大)
「超人スポーツ –テクノロジーでスポーツを共創する–」
・山本裕二 教授 (名大)
「対人・集団スポーツを組織化する情報」
・竹内勇剛 教授 (静大)
「スポーツにおける認知的なインタラクション」
・遊橋裕泰 准教授 (静大)
「情報学部学生によるスポーツ情報学の展開」

講演パネルディスカッション（2018年12月22日）

カフェ＆ポスターセッションの様子（2018年 12月22日）

さらにパネルディスカッションでは、NTT の木村聡貴氏、SPLYZA の土井寛之氏がスポーツへの情報科学技術の活用に向けた各社の取込みを紹介し、演者・会場とともに “情報” によるスポーツパフォーマンスの向上の可能性を議論しました。

また、カフェ＆ポスターセッションでは、学生や若手研究者達が日々の学びや研究の成果や進捗を発表しました。協賛各社や珈琲研究会による提供のお菓子やコーヒーを楽しみながら議論もはずみ、活気溢れる催しとなりました。

当日は 257 名もの方々にご参加いただき、スポーツを切り口に未来の情報学を構想するための貴重な場となりました。参加者、共催 / 協賛 / 後援の各社 / 団体の皆さまに厚く御礼申し上げます。

情報社会における言語習得研究の貢献

情報社会学科　大瀧 綾乃

今年１月に着任いたしました大瀧綾乃です。情報学部の英語科目 (コミュニケーションスキルズ等) を担当させていただきます。私は、第二言語習得研究、特に日本語を母語とする英語学習者を対象にした統語（文法）の習得を研究しております。これまでに不定詞節の空主語、動詞の自他動性、代名詞等に焦点をあてて研究を行って参りました。そして、その研究から得られた知見を教室環境における英語教育（英文法指導）に活かすための研究をおこなっています。特に、英文法指導をする際に教師が持つべき知識・方法とは何かを検証しています。私の研究からの知見を情報学部における英語教育に活かしたいと考えます。情報社会においてコミュニケーションスキルを高めるためには、そのツールである「言語」について考えることが大切です。言語習得を妨げる要因は何か、言語習得に関する誤りは教えれば修正できるのかという、人間の認知に関わる言語習得研究からの知見は、情報社会におけるコミュニケーションを考える際に貢献できると考えます。情報学部にて学生さん達とともに、研究を発展させていく所存です。

人と人の繋がり

CS プログラム　情報科学科　鈴木 芹奈

私は、大学に入学してから様々なアルバイトを経験し、たくさんの人と出会い、新しい世界を見て知りました。最初は与えられた仕事をこなすことで精一杯でしたが、社員の方やお客さんとのコミュニケーションを通して人の温かさを感じると同時に、当たり前のように過ごしている毎日は本当にたくさんの人の働きや繋がりによって成り立っているんだということを知ることができました。

そして、大学３年生になり配属された研究室では、軽度のうつ病患者を早期発見するための検査手法の検討について卒業研究に取り組みました。うつ病は軽度のうちは自覚症状が現れにくく、知らないうちに深刻化してしまうこともある病気なので、軽度のうちに発見し治療することができる人が少しでも増えるためのお手伝いができればいいなという思いを持ってやりがいのある研究を行うことができました。先生や研究室の皆さんには、研究を進めていく中で何度も助けてもらい、とても感謝しています。大学４年間で得た経験や思い出を胸に、社会に出ても人との繋がりを大切にしていきたいと思います。

挑戦すること～学生リポーターとしての活動～

IS プログラム　情報社会学科　土屋 望実

入学当初、メディアとして情報を伝えることに特別興味を持っていたので、静岡大学テレビジョンという広報組織に所属しレポーターとして活動しました。主に大学主催のイベントなどを取材し、動画として公開します。はじめはありきたりな質問や台本通りのことしかインタビューできませんでしたが、尊敬する先輩や経験から学び、「自分にしか出来ない対話・視聴者が気になる情報を引き出す」を目標に自分らしい振る舞いをしようと励みました。相手は初対面の人がほとんどなので、自ら話しやすい雰囲気にしなければなりません。これらのことで情報収集能力や対話スキルを身につける事ができました。

４年間、取材を通じて様々な場所で多くの人と関わる事で、新しい出会いや価値観、世界の広さを知る事もできました。大学生だからこそ、自分の興味や好きなことに思い切って飛び込む事ができましたし、挑戦して得た経験は私の財産です。お世話になった方々に感謝すると共に、これからも好奇心をもち続け積極的に新しいことに取り組んでいきたいと思います。

情報学って何だ？

ID プログラム　情報社会学科　提坂 直之

「情報学部ってどんなことを学んでいるの？」私は学外の人によくそう聞かれます。ただ、その質問に一言で返せた覚えは一度もありませんでした。なぜなら、プログラミングを学んで、今昔様々なメディアや作品を読み解いて、現代社会や文化に対する考え方も身につけて、社会調査の実習に出て、時には学外の演習授業後に友人達と海岸線に浮かぶ夕日をめがけて全速力で走って。ついに辿り着いた先は言語学を専攻する研究室。学会を見たり、先生が主催する絵本のイベントを手伝ったり、そして卒業研究は様々な謝罪会見を視聴して、先生方に叱咤激励を受けながら「他人から許されるコミュニケーション」というものを研究していました。それが私の４年間の大学での学びでした。

終着点は言語学でしたが、学んできたどれもこれもが立派な情報学。日常に溢れる様々なすがたかたちの情報、それは例えば ICT、ことば、仕組み。私はそれらを読み解く力をこの４年間で身につけられたのではないかなと思います。

情報学とは何か。僕はいつもその伝え方に困惑します。なぜなら一言で返せるほどシンプルではない、幅広い学問だったから。

6 年間の学生生活の中で

総合科学技術研究科 情報学専攻　野村 誠一郎

「人生のモラトリアムを延長した」大学院の合格発表が出た時、共に進学を決めた友人が Twitter でこうつぶやいたことを思い出します。モラトリアムは支払猶予期間を意味することから、進学により社会に出ることの猶予期間ができたことを揶揄したものでしょう。多くの人が大学院に進学する 20～30 歳の期間は人生の青年期と呼ばれ、主に自分探し、自己形成に充てられる期間だそうです。

私の大学生活は、まさに自分探しのような様々な出会いに溢れていました。プログラミング、アルバイト、サークル活動、学会、お祭り、VR、DJ、アイデアソン、ハッカソン、ディープラーニング、フォントーー大学生活で経験したことのキーワードを列挙してみたのですが、統一感のない雑多な経験です。情報学部として勉強した経験を生かしたものもあれば、全く分野と関係ない、自分の好奇心のみで取り組んだものもあります。しかしそれらの経験すべてが現在の私を構成する要素であると思います。

大学生活とは長いようで短い、かつ非常に貴重な期間です。その期間の中で振り込んできた機会には積極的に参加することで、有意義なモラトリアム期間を過ごせるのではないかと思います。

2018年度　情報学部・総合科学技術研究科情報学専攻の就職・進学状況

Career choices of new graduates

情報学部キャリア支援室　西村 雅史

2018年度も情報学部と総合科学技術研究科情報学専攻では共に高い就職率を維持することができました。学生の個別の希望や資質に応じて一人一人丁寧に行なった就職指導の成果と言えるでしょう。2019年2月28日現在で、表のように学部98.5%、研究科100.0%の内定率となっています。2019年度には行動情報学科からの最初の卒業生が出ます。全員ができるだけ希望の進路に進めるよう、途切れなく支援して行きます。

学科・研究科		卒業予定者数	就職希望者数	内定者数	大学院進学者数	内定率	進学率
情報学部	情報科学科	105	52	51	48	98.1%	45.7%
	情報社会学科	98	81	80	14	98.8%	14.3%
	計	203	133	131	62	98.5%	30.5%
総合科学技術研究科		70	60	60	3	100.0%	4.3%

情報科学科・情報社会学科の主な就職先（研究科を含む）

情報科学科	情報社会学科	総合科学技術研究科情報学専攻
アイネス	磐田市役所	ＮＥＣ
伊藤忠テクノソリューションズ	インテック	ＮＴＴ
ＳＣＳＫ	ＮＥＣソリューションイノベータ	ＮＴＴドコモ
ＦＤＫ	ＮＴＴ西日本	トヨタ自動車
ＮＴＴデータ	静岡銀行	京セラ
京セラコミュニケーションシステムズ	静岡県庁	ＫＤＤＩ
サイバーエージェント	ジャパンネット銀行	ＪＲ東海
静岡銀行	スルガ銀行	スズキ
島精機製作所	スズキ	ソフトバンク
セイコーエプソン	全日本空輸	デンソー
ＴＩＳ	デンソー	東芝テック
凸版印刷	電通国際情報サービス	東洋エンジニアリング㈱
豊田自動織機	東日本高速道路	日本アイ・ビー・エム
豊橋市役所	富士市役所	富士通
ニフティ	富士通	みずほ情報総研
パナソニック	富士通エフサス	三菱電機
藤枝市役所	本田技研工業㈱	矢崎総業
富士通	三菱ＵＦＪ銀行	ヤマハ
三菱電機インフォメーションシステムズ	ヤマハ発動機	ヤマハ発動機
ヤマハモーターソリューション　等	リョービ　等	リコー　等

近年の学部・研究科卒業生の主な就職先は左記の通りです。情報科学科では、大手情報通信産業や製造業が多く、情報社会学科では、公務員、銀行等金融業、製造業などが多くなっています。行動情報学科では、システム開発やサービス企画等を目指している学生が多いようです。情報学部では、3年次でのインターンシップや就職活動ガイダンス等に加え、学生に対してきめ細やかな面接指導等を行っています。写真は、2019年2月に行われた「業界研究セミナー」の様子です。

業界研究セミナー（2019年2月21日）

2019 年度　行事予定表

2019年

4月4日	入学式・保護者懇談会（新入生の保護者対象）
4月5日	ガイダンス（1・4年生）
4月8日	ガイダンス（2・3年生）
4月10日	前期授業開始
4月20・21日	新歓合宿（休暇村伊良湖）
8月2日	前期試験期間（～8月8日）
8月8日	TOEIC試験
8月9日	夏季オープンキャンパス
9月16日	集中講義（～9月30日）
10月1日	後期授業開始
11月9・10日	静大祭・テクノフェスタ（浜松）
11月9日	保護者懇談会・個別面談
11月16・17日	静大祭（静岡）
12月24日	集中講義（～12月27日）
12月28日	冬季休業（～1月5日）

2020年

1月6日	授業再開
2月4日	後期試験期間（～2月10日）
3月19日	学位授与式・卒業祝賀会（浜松）
3月23日	学位授与式（静岡）

お問い合わせ　〒432-8011 浜松市中区城北3-5-1 静岡大学情報学部事務局
TEL：053-478-1510・1511　FAX：053-471-0249
学務窓口 pr-gakumu@inf.shizuoka.ac.jp

Joy風 vol.22 April2019

情報学部のウェブページをご覧ください。
情報学部では、保護者・受験生・社会人・一般・企業の皆様向けに学部のウェブページを公開しています。最新情報が掲載されていますので、どうぞご覧ください。
http://www.inf.shizuoka.ac.jp/